

グローバル株式トップフォーカス

運用報告書(全体版)

第8期(決算日 2024年3月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル株式トップフォーカス」は、2024年3月15日に第8期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2016年3月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、世界の株式(預託証券を含みます。)を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要運用対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<643076>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債権組入比率	証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金配分	み騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
4期(2020年3月16日)	12,788	0	△ 9.0	—	97.4	28
5期(2021年3月15日)	20,810	0	62.7	—	98.0	61
6期(2022年3月15日)	21,521	0	3.4	—	97.7	287
7期(2023年3月15日)	22,725	0	5.6	—	97.3	902
8期(2024年3月15日)	31,650	0	39.3	—	97.4	2,474

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

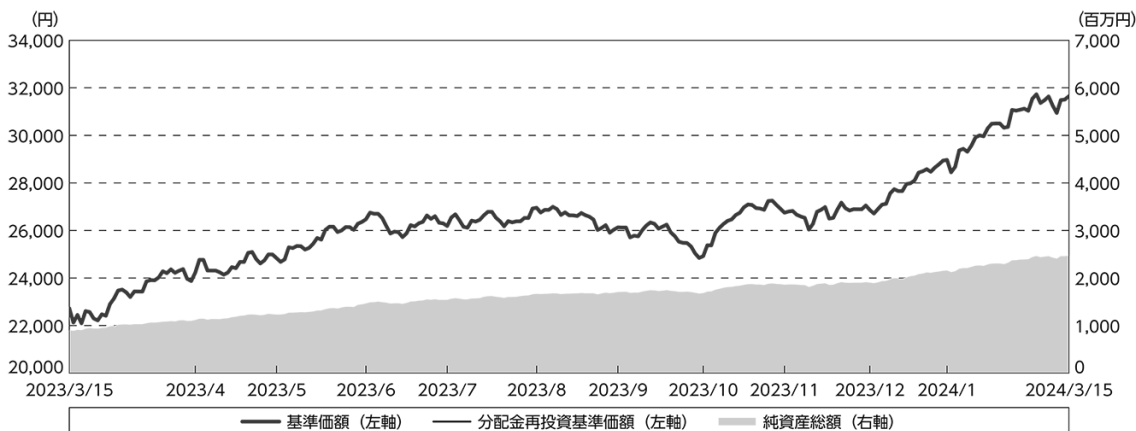
年月日	基準価額	騰落率	証券組入比率
(期首) 2023年3月15日	円 22,725	% —	% 97.3
3月末	23,140	1.8	98.0
4月末	24,229	6.6	97.9
5月末	24,834	9.3	97.7
6月末	26,471	16.5	96.7
7月末	26,188	15.2	97.4
8月末	26,954	18.6	97.3
9月末	26,130	15.0	97.3
10月末	24,920	9.7	97.7
11月末	26,748	17.7	97.9
12月末	26,863	18.2	97.4
2024年1月末	28,968	27.5	97.3
2月末	31,124	37.0	97.4
(期末) 2024年3月15日	円 31,650	% 39.3	% 97.4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年3月16日～2024年3月15日)

期中の基準価額等の推移



期首：22,725円

期末：31,650円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：39.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2023年3月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ルクセンブルグ籍外国投資法人「日興AMグローバル・エクイティ・ファンドクラスP」円建投資証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ AI (人工知能) 関連や半導体関連への物色などが続き、米国市場を筆頭にグローバル株式市場が上昇したこと。
- ・ 主要通貨に対して円安が進んだこと。

<値下がり要因>

- ・ 中国において、景気減速や不動産信用問題に対する懸念が続いたこと。
- ・ イスラエルとパレスチナの衝突など中東情勢の混乱が生じたこと。

投資環境

(株式市況)

期間中のグローバル株式市場は、「マグニフィセント・セブン」と呼ばれる米国の大型ハイテク株式7銘柄が上昇を主導しました。

米国の堅調な経済指標とインフレ抑制に、投資家はポジティブに反応しました。米国連邦公開市場委員会(FOMC)のメンバーは比較的慎重な姿勢を崩しておらず、利下げのスピードには疑問符が残るものの、少なくとも今のところは経済面での朗報として扱われています。米国の労働市場の回復力とインフレ率の継続的な低下は、米国の消費者の現在の生活に対する安心感を高めています。

米国国債利回りは、2023年10月半ばにかけて5%近くまで上昇しましたが、その後は低下し、米国連邦準備制度理事会(FRB)がソフトランディングを実現するのではないかと期待が高まりました。信用スプレッド(利回り格差)は引き続き抑制されており、これが市場のセンチメントにとってより重要であることは間違いありません。イスラエルとパレスチナ、また、ロシアとウクライナの紛争にもかかわらず、地政学的リスクが抑制されていることから、アメリカドルは主要貿易相手国の通貨に対して2023年10月の高値を大きく下回る水準にとどまっています。

世界の他の地域では、楽観視できない経済状況が続いています。中国の経済状況は振るわず、中央政府による景気刺激策も期待されたほどの効果を上げていません。不動産市場における懸念も続き、国の富の多くが中国経済の動向と密接に結びついているため、このままでは中国の消費者信頼感が急速に回復するのは難しいとみられます。

欧州の最近の動きも特に好ましいとは言えず、ドイツのIFO企業景況感指数は期間の初めから低下基調となり、小売売上高も伸び悩んでいます。フランスの景気は、ユーロ圏の他の大国よりは良好に見えるものの、隣国の経済大国の低迷を相殺できるほどの力強さはありません。

セクター別では、情報技術セクターの強さが突出しました。米国の半導体大手の好調な決算に加えて、AIによりもたらされる潜在的な収益期待も追い風となりました。過去10年間のリーダー企業の多くが復活したことは、一般消費財・サービスセクターの主要銘柄やデジタル広告業界の業績改善にも表れています。

一方、公益事業、生活必需品、不動産、ヘルスケアなど、ディフェンシブセクターは振るいませんでした。債券代替セクターから数年ぶりに大きな利回りを提供する債券へのローテーションが、主な理由とみられます。エネルギーや素材などのコモディティ関連セクターも、中国の景気減速懸念などを背景に出遅れました。

(国内短期金利市況)

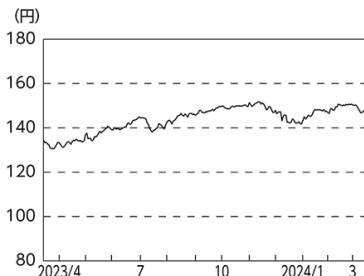
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.25%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、0.00%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

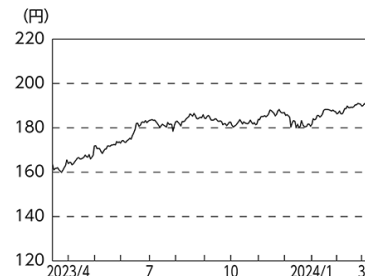
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／イギリスポンドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

期間中、当ファンドの基準価額は上昇しました。

米国市場の上昇、金利のピークアウト観測、AIの盛り上がりなどが、当ファンドの収益に貢献しました。情報技術やコミュニケーション・サービスセクターの上昇は「マグニフィセント・セブン」の影響が大きく、当ファンドではこれらの7銘柄のうち数銘柄しか保有していなかったにもかかわらず、優れた銘柄選択と、セクター・地域の分散効果が奏功しました。

情報技術、コミュニケーション・サービス、素材セクターの銘柄選択に加えて、コミュニケーション・サービスセクターの米国の動画配信サービス大手を新規に組み入れたことも、プラスに寄与しました。一方、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄選択や、ヘルスケアセクターの組入比率を高めにしていましたが、マイナスに影響しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドは、全ての組入銘柄の選定においてESG（環境・社会・ガバナンス（企業統治））を主要な要素としており、日興アセットマネジメントが「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」を踏まえて定めた「ESG投信」です。独自のESG総合評価を行なうことを義務としているほか、ポートフォリオ全体としてのGHG（温室効果ガス）排出量の抑制を目標に掲げています。

全ての組入れ候補銘柄について、ESGの観点で分析を行ないました。人権、労働、環境、腐敗防止の4分野について、国連が定めた10原則や、OECDの多国籍企業行動指針に違反する企業、非人道的兵器の製造企業や販売企業、環境保全、顧客・労働者の権利、人権、およびガバナンス（企業統治）の分野において、重大な不祥事が報じられている企業へは投資を行なっておりません。

また、組入銘柄の売上高当たりGHG排出量の平均値を、主要な世界株指数における水準の8割以下に抑えることをめざしており、2023年12月末時点につきまして、達成しております。

平均排出量（売上100万アメリカドル当たり二酸化炭素換算トン、2023年12月末時点）

当ファンドの代表的ポートフォリオ：44.1

世界株式（MSCI ACワールド指数構成銘柄）：129.0

日興アセットマネジメントのESG投資の詳細につきましては、以下のWEBサイトをご参照ください。

<https://www.nikkoam.com/sustainability>

日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドは日興アセットマネジメントのグループ会社として、同グループのステewardシップ方針に基づき、ステewardシップ責任を果たしています。日興アセットマネジメントグループ（以下、「当社グループ」）では、ESG要素の考慮について、お客様に対する受託者責任の不可欠な一部であると考えています。ESG課題に関する投資先企業とのエンゲージメント（目的を持った建設的な対話）および議決権行使は、株式運用におけるステewardシップ活動の主な手段であり、当社グループは議決権行使がお客様の利益に資するよう、細心の注意を払いました。債券運用においては、発行体とのエンゲージメントなど、他のステewardシップ手段を用いることで、積極的な投資家となることをめざしました。

当社グループのステewardシップ方針の詳細は、ホームページでご確認いただけます。

<https://www.nikkoam.com/about/stewardshipcode/policy>

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第8期
	2023年3月16日～ 2024年3月15日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	21,650

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

当ファンドの投資哲学である「フューチャー・クオリティ」と、ポートフォリオの見直しや銘柄のランク付けを行なう一貫したプロセスは、亀裂の特定とともに新しいアイデアの発見にも役立つと考えています。AI内外の銘柄選択により、ポートフォリオは好調です。これには、新型コロナウイルス関連での在庫増加やその後の逆風が完了に近づいていることが示唆されているヘルスケアセクターのような、投資比率を高めに行っているセクターも含まれており、2024年後半以降に当ファンドで保有する企業の力強い成長を促進すると期待されます。

専門保険ソリューション銘柄の一角が好調に推移していることからわかるように、現在の市場では銘柄選択が重要であると当ファンドでは考えています。これは、優れた銘柄選択と「フューチャー・クオリティ」という投資哲学の価値を表しています。

今日の市場では、いかなる見直しにも金利評価を含める必要があります。中央銀行は、経済活動の大幅な減速なしに先制的な利下げを行なう可能性は極めて低いと考えています。ニュージーランドでは追加利上げの可能性が予想され始めていますが、ニュージーランドは世界の金融政策の動向をしばしば先取りすることから、当ファンドでもアンテナを高めています。

リスクオンの波が終わっても、当ファンドの運用チームは、強固なバランスシート、実績のある経営陣、不透明な市場環境下でも収益を拡大する能力を持つ企業にフォーカスする「フューチャー・クオリティ」の投資哲学に集中し続けます。このアプローチが一貫した収益を提供すると確信しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月16日～2024年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 313	% 1.188	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(145)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(160)	(0.605)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(9)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	27	0.101	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(25)	(0.096)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	340	1.289	
期中の平均基準価額は、26,380円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

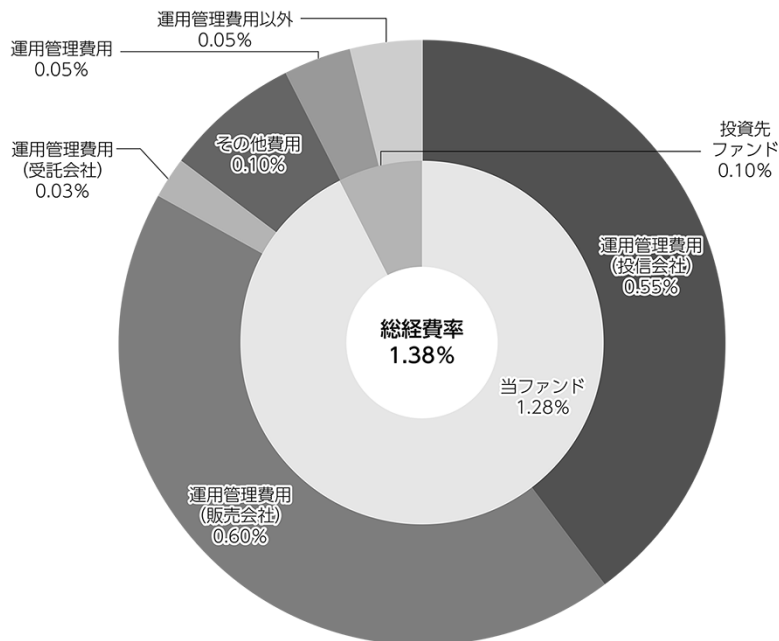
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.38
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認くださいですが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月16日～2024年3月15日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	千口 323,430	千円 942,085	千口 -	千円 -

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 1,487	千円 1,490	千口 -	千円 -

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月16日～2024年3月15日)

利害関係人との取引状況

<グローバル株式トップフォーカス>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 942	百万円 942	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年3月16日～2024年3月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年3月16日～2024年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年3月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP		349,614	673,044	2,409,363	97.4
合 計		349,614	673,044	2,409,363	97.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		934	2,422	2,426

(注) 親投資信託の2024年3月15日現在の受益権総口数は、449,474千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 2,409,363	% 96.5
マネー・アカウント・マザーファンド	2,426	0.1
コール・ローン等、その他	85,913	3.4
投資信託財産総額	2,497,702	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,497,702,769
コール・ローン等	85,912,453
投資証券(評価額)	2,409,363,741
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	2,426,575
(B) 負債	23,531,114
未払解約金	10,398,246
未払信託報酬	11,526,611
未払利息	3
その他未払費用	1,606,254
(C) 純資産総額(A-B)	2,474,171,655
元本	781,719,850
次期繰越損益金	1,692,451,805
(D) 受益権総口数	781,719,850口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,650円

(注) 当ファンドの期首元本額は397,168,408円、期中追加設定元本額は468,231,490円、期中一部解約元本額は83,680,048円です。

(注) 1口当たり純資産額は3.1650円です。

○損益の状況 (2023年3月16日～2024年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 13,636
受取利息	58
支払利息	△ 13,694
(B) 有価証券売買損益	559,706,875
売買益	589,013,683
売買損	△ 29,306,808
(C) 信託報酬等	△ 21,067,614
(D) 当期損益金(A+B+C)	538,625,625
(E) 前期繰越損益金	△ 5,033,209
(F) 追加信託差損益金	1,158,859,389
(配当等相当額)	(584,333,563)
(売買損益相当額)	(574,525,826)
(G) 計(D+E+F)	1,692,451,805
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,692,451,805
追加信託差損益金	1,158,859,389
(配当等相当額)	(584,333,562)
(売買損益相当額)	(574,525,827)
分配準備積立金	533,606,404
繰越損益金	△ 13,988

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年3月16日～2024年3月15日)は以下の通りです。

項 目	2023年3月16日～ 2024年3月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	524,243,478円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,158,845,401円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	9,362,926円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,692,451,805円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	21,650円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2023年3月16日から2024年3月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、弊社では、純資産を増加させることが今後の安定したファンド運営において必要な方策と考えており、それが結果として受益者の利益に資するとの考えから、純資産の増加を目指すべく、信託期間を5年更新して信託終了日を2031年3月14日とするよう、2023年6月16日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第4条)
- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、投資対象ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年12月16日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表)
- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年12月16日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第4条、第47条)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP
	ルクセンブルグ籍外国投資法人
運用の基本方針	
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国および新興国の株式を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 ・EUのサステナブルファイナンス開示規制ではArticle 8 に該当し、環境や社会の特性を促進します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の5%を超えてUCITSやその他UCIs (ETFを除きます。)への投資は行いません。 ・原則として、同一発行体が発行する有価証券の組入れは、純資産総額の10%以内とします。 ・借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。
収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.05% (国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年12月末日

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド
投資ポートフォリオ

2022年12月31日現在

数量 元本	銘柄	通貨	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
公式取引所に上場されている譲渡可能証券				
株式				
1,286,945.00	オーストラリア WORLEY LTD	AUD	13,091,266.57 13,091,266.57	2.73 2.73
279,450.00	キュラソー SCHLUMBERGER LTD	USD	14,939,397.00 14,939,397.00	3.12 3.12
62,301.00	フランス SCHNEIDER ELECTRIC SE	EUR	8,691,669.83 8,691,669.83	1.82 1.82
954,800.00	香港 AIA GROUP LTD	HKD	10,618,449.80 10,618,449.80	2.22 2.22
490,964.00	インド HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	INR	15,652,934.48 15,652,934.48	3.27 3.27
30,066.00	アイルランド ACCENTURE PLC-CL A	USD	8,022,811.44	1.68
100,567.00	KERRY GROUP PLC-A	EUR	9,041,490.21	1.89
34,342.00	LINDE PLC	USD	11,201,673.56	2.33
			28,265,975.21	5.90
124,700.00	日本 SONY GROUP CORP	JPY	9,483,985.84 9,483,985.84	1.98 1.98
223,583.00	オランダ KONINKLIJKE PHILIPS ELECTRONICS	EUR	3,341,619.87 3,341,619.87	0.70 0.70
383,600.00	シンガポール DBS GROUP HOLDINGS LTD	SGD	9,701,515.74 9,701,515.74	2.03 2.03
152,851.00	スペイン AMADEUS IT GROUP SA	EUR	7,919,972.65 7,919,972.65	1.65 1.65
911,786.00	スウェーデン HEXAGON AB-B SHS	SEK	9,538,301.15 9,538,301.15	1.99 1.99
730,000.00	台湾 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	TWD	10,652,344.15 10,652,344.15	2.23 2.23
334,639.00	英国 BURFORD CAPITAL LTD	GBP	2,684,865.55	0.56
687,685.00	COMPASS GROUP PLC	GBP	15,861,530.10	3.31
304,882.00	DIAGEO PLC	GBP	13,385,814.57	2.80
149,157.00	LIVANOVA PLC	USD	8,284,179.78	1.73
1,461,129.00	RENTOKIL INITIAL PLC	GBP	8,928,375.11 49,144,765.11	1.87 10.27
107,021.00	米国 ABBOTT LABORATORIES	USD	11,749,835.59	2.45
532,311.00	ADAPTHEALTH CORP	USD	10,231,017.42	2.14
18,113.00	ADOBE INC	USD	6,095,567.89	1.27
42,219.00	AMERICAN TOWER CORP	USD	8,944,517.34	1.87
89,572.00	BIO-TECHNE CORP	USD	7,423,727.36	1.55
5,366.00	BOOKING HOLDINGS INC	USD	10,813,992.48	2.26
375,436.00	BOX INC - CLASS A	USD	11,687,322.68	2.44
38,872.00	CARLISLE COS INC	USD	9,160,186.80	1.91
48,508.00	CHART INDUSTRIES INC	USD	5,589,576.84	1.17
208,885.00	COCA-COLA CO	USD	13,287,174.85	2.78
57,756.00	DANAHER CORP	USD	15,329,597.52	3.21
27,253.00	DEERE & CO	USD	11,684,996.28	2.44

数量 元本	銘柄	通貨	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
22,489.00	ELEVANCE HEALTH INC	USD	11,536,182.33	2.41
120,175.00	EMERSON ELECTRIC CO	USD	11,544,010.50	2.41
234,805.00	ENCOMPASS HEALTH CORP	USD	14,043,687.05	2.93
142,042.00	INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	USD	14,572,088.78	3.04
240,713.00	KBR INC	USD	12,709,646.40	2.65
41,806.00	MASIMO CORP	USD	6,185,197.70	1.29
88,659.00	MICROSOFT CORP	USD	21,262,201.38	4.45
12,037.00	OREILLY AUTOMOTIVE INC	USD	10,159,589.11	2.12
169,092.00	PALOMAR HOLDINGS INC	USD	7,636,194.72	1.60
99,005.00	PROGRESSIVE CORP	USD	12,841,938.55	2.68
27,528.00	SOLAREEDGE TECHNOLOGIES INC	USD	7,797,856.56	1.63
115,007.00	TENET HEALTHCARE CORP	USD	5,611,191.53	1.17
50,295.00	TRACTOR SUPPLY COMPANY	USD	11,314,866.15	2.36
102,005.00	TRANSUNION	USD	5,788,783.75	1.21
			275,000,947.56	57.44
			466,043,144.96	97.35
有価証券ポートフォリオ合計			466,043,144.96	97.35

金融デリバティブ商品

2022年12月31日現在

買建	売建	満期日	未実現評価(損)益 (米ドル)
外国為替先渡契約			
68,324,171.00 JPY	772,400.00 AUD	31/01/23	(4,620.06)
155,369,046.00 JPY	1,106,707.00 EUR	31/01/23	(1,476.41)
217,021,421.00 JPY	1,362,617.00 GBP	31/01/23	10,941.02
54,252,443.00 JPY	3,204,689.00 HKD	31/01/23	2,134.03
82,410,307.00 JPY	51,920,636.00 INR	31/01/23	718.50
51,273,171.00 JPY	4,053,144.00 SEK	31/01/23	395.01
51,494,848.00 JPY	526,179.00 SGD	31/01/23	(565.46)
57,972,140.00 JPY	13,442,432.00 TWD	31/01/23	2,486.51
1,706,512,896.00 JPY	12,932,184.00 USD	31/01/23	52,766.83
			62,779.97
外国為替先渡契約合計			62,779.97

純資産の概要

	純資産に 占める 割合(%)
有価証券ポートフォリオ合計	466,043,144.96 97.35
金融デリバティブ商品合計	62,779.97 0.01
銀行預金	12,772,433.50 2.67
その他の資産および負債	(166,356.88) (0.03)
純資産合計	478,712,001.55 100.00

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める 割合(%)	純資産に 占める 割合(%)
ヘルスケア	19.40	18.88
外食産業	11.07	10.78
コンピュータ・ソフトウェア	8.38	8.16
各種サービス	7.67	7.46
電気・電子機器	7.34	7.16
金融サービス	7.06	6.87
保険	6.67	6.50
流通/卸売	6.64	6.46
自動車部品・装置	5.75	5.60
事務機器	4.45	4.33
石油サービス	3.21	3.12
化学	2.40	2.33
インターネット	2.32	2.26
銀行	2.08	2.03
その他	5.56	5.41
	100.00	97.35

国別配分	ポートフォリオに 占める 割合(%)	純資産に 占める 割合(%)
米国	59.00	57.44
英国	10.54	10.27
アイルランド	6.06	5.90
インド	3.36	3.27
キュラソー	3.21	3.12
オーストラリア	2.81	2.73
台湾	2.29	2.23
香港	2.28	2.22
シンガポール	2.08	2.03
スウェーデン	2.05	1.99
日本	2.04	1.98
その他	4.28	4.17
	100.00	97.35

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 純資産計算書

2022年12月31日現在

	米ドル
資産	
組入有価証券（簿価）	481,842,723.49
有価証券に係る未実現評価損	(15,799,578.53)
投資有価証券（市場価格）	466,043,144.96
銀行預金	12,772,433.56
運用会社からの払戻	55,889.86
売却受益証券に係る未収金	142,128.84
還付請求源泉徴収税に係る未収金	5,502.23
外国為替先渡契約に係る未実現純評価益	62,779.97
未取配当金および未収利息	273,441.05
資産合計	479,355,320.47
負債	
当座借越	0.06
未払費用	640,726.54
未払利息	2,592.32
負債合計	643,318.92
期末純資産	478,712,001.55

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 損益計算書および純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した年度

	米ドル
収益	
配当金（源泉徴収税控除後）	3,346,921.58
銀行預金利息	108,367.48
その他収益	3,456.23
運用会社からの払戻	144,616.29
収益合計	<u><u>3,603,361.58</u></u>
費用	
運用報酬	1,905,571.52
預託報酬	58,102.31
管理報酬	156,288.41
専門家報酬	61,674.90
取引費用	248,298.13
年次税	67,266.15
銀行借入利息	37,443.04
名義書換代理人報酬	16,613.21
税金費用（年次税を除く）	189,471.58
その他の費用	91,877.22
費用合計	<u><u>2,832,606.47</u></u>
純投資利益	<u><u>770,755.11</u></u>
実現純（損）益内訳：	
投資	(1,175,032.95)
外貨換算	(103,055.16)
外国為替先渡契約	(5,271,833.36)
当期実現純損失	<u><u>(5,779,166.36)</u></u>
評価（損）益の純変動額内訳：	
投資	(81,380,359.69)
外国為替先渡契約	912,261.01
運用による純資産の減少額	<u><u>(86,247,265.04)</u></u>
申込受益証券に係る受取代金	241,680,008.19
買戻受益証券に係る純支払額	(51,993,432.39)
期首純資産	375,272,690.79
期末純資産	<u><u>478,712,001.55</u></u>

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 統計情報

2022年12月31日現在

2022年12月31日現在

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド

純資産価額	USD	478,712,001.55
受益証券1口当たり純資産価額		
クラスA USD	USD	21.25
クラスB EUR	EUR	15.29
クラスB USD	USD	14.26
クラスD GBP	GBP	18.68
クラスF USD***	USD	8.71
クラスP JPY	JPY	2.49
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	JPY	1.48
クラスPII JPY	JPY	1.02
クラスU AUD	AUD	22.44

株数

クラスA USD	10,702,206.69
クラスB EUR	100.00
クラスB USD	590,598.03
クラスD GBP	27,289.84
クラスF USD***	5,080,682.59
クラスP JPY	1,564,782,538.00
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	1,784,319,031.00
クラスPII JPY	62,169,509.00
クラスU AUD	9,727,221.44

*** 日興AMグローバル・エクイティ・ファンド - クラスF USD受益証券は2022年3月23日に運用を開始した。

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2023年10月12日）
（2022年10月13日～2023年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
10期(2019年10月15日)	円		%		百万円
	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	—	560
14期(2023年10月12日)	10,018		△0.0	—	458

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2022年10月12日	円		%
	10,022		—
10月末	10,022		0.0
11月末	10,021		△0.0
12月末	10,020		△0.0
2023年1月末	10,020		△0.0
2月末	10,020		△0.0
3月末	10,020		△0.0
4月末	10,020		△0.0
5月末	10,019		△0.0
6月末	10,019		△0.0
7月末	10,019		△0.0
8月末	10,018		△0.0
9月末	10,018		△0.0
(期 末) 2023年10月12日	10,018		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年10月13日～2023年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,022円の基準価額は、期間末に10,018円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

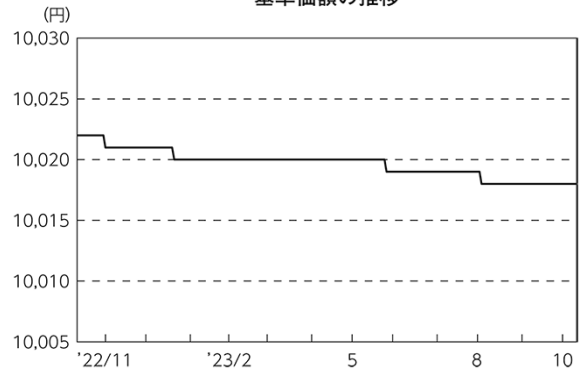
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/10/12	2022/10/13	2023/08/03	2023/10/12
10,022円	10,022円	10,018円	10,018円

○1万口当たりの費用明細

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,019円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年10月12日現在)

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	460,554	100.0
投資信託財産総額	460,554	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			460,554,227
(B) 負債				
	未払解約金			460,554,227
	未払利息			154
(C) 純資産総額(A-B)				458,012,074
	元本			457,205,640
	次期繰越損益金			806,434
(D) 受益権総口数				457,205,640口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,018円

(注) 当ファンドの期首元本額は559,411,728円、期中追加設定元本額は65,398,257円、期中一部解約元本額は167,604,345円です。

(注) 2023年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	1,008,393円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	61,601,208円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	873,815円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	39,403,892円	・S M B C ・日興 世銀債ファンド	817,802円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	16,912,508円	・エマーゼン・プラス・円戦略コース	690,677円
・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	12,476,397円	・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	553,224円
・エマーゼン・プラス(マネーボールファンド)	9,883,036円	・D C世界株式・厳選投資ファンド	472,243円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	9,797,265円	・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	421,031円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	9,153,672円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	260,591円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,091,485円	・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	198,309円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,597,366円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	117,667円
・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,192,802円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマーゼン)	99,902円
・世界標準債券ファンド	6,082,942円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	48,754円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド (1年決算型)	5,821,782円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	22,949円
・エマーゼン・プラス・成長戦略コース	3,018,587円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,000,903円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,676,160円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	2,538,599円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,517,567円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジあり)	9,979円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	1,963,920円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス (奇数月分配型)	1,797,541円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル株式トップフォーカス	1,696,908円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジあり)	9,978円
・グリーン世銀債ファンド	1,451,090円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	1,224,190円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,018,655円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1,0018円です。

○損益の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A) 配当等収益		△	198,410
受取利息			939
支払利息		△	199,349
(B) 保管費用等		△	102
(C) 当期損益金(A+B)		△	198,512
(D) 前期繰越損益金			1,218,941
(E) 追加信託差損益金			129,627
(F) 解約差損益金		△	343,622
(G) 計(C+D+E+F)			806,434
次期繰越損益金(G)			806,434

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年10月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年7月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第16条、第17条、第18条)